

## 意見交換会の進め方について

### 趣旨

意見交換会の趣旨は、各NPO等市民団体が行っている活動に照らして、里浜づくりのコンセプトに関する意見、要望事項等について伺うとともに、「みちしるべ」の作成に向けて、どのようなことを盛り込むべきか、どのような点に注意すべきかについて意見を伺うことを中心とする。

### 開催時期

事例の収集を兼ねることから、第1回の研究会開催後のできるだけ早い段階である平成15年10月～11月の間とする。

### 開催場所

東京で1回、東京近郊で活動する団体との意見交換を行う。

### メンバー

海岸づくりに係わっている意識の高いNPO等市民団体とする。メンバーの選定は、港湾局海岸・防災課の既存でデータに基づくとともに、「新たな海辺の文化の創造研究会」及び3部会メンバーにも協力頂き行う。

#### (主催者)

- ・ 港湾局海岸・防災課

#### (協賛者)

- ・ 里浜づくり研究会

#### (参加者)

- ・ NPO等市民団体、組織(1回当たり、10団体以内)
- ・

### 開催内容

以下の会次第のイメージで約2～3時間の開催を想定するが、十分な意見交換を行うため、前半は合同で行うが、後半はグループを造り、グループごとに行う。

#### 前半：合同で実施

- ・ 主催者代表挨拶(港湾局海岸・防災課)
- ・ 参加メンバーの紹介
- ・ NPO等市民団体の活動報告
- ・ 「里浜づくり」の考え方を説明(里浜づくり研究会メンバー)
- ・ 「里浜づくり」への国の支援と行動計画(港湾局海岸・防災課)

後半：グループを造り、グループごとに意見交換

- ・ 意見交換

3団体程度を1グループとして、港湾局海岸・防災課、研究会メンバー、WAVEがそれぞれのグループに1名以上参加し、自由に議論頂き、できるだけ、多くの意見交換を行うこととする。

#### 参加メンバー

港湾局海岸・防災課が各整備局を通じて行ったアンケート調査（別紙参照）及び、3部会メンバーからの紹介により、候補団体は以下とし、この中から、研究会メンバーの意見を伺い選定することとする。

#### 関東地方整備局管内でリストアップ

##### [歴史文化・なりわい]

団体名称・氏名	所在地	活動内容・目的	データ出所
体験活動ボランティア支援センター：大山吐志	茨城県大洗町	ハマヒルガオを咲かす活動を展開	
かわさき・海の市民会議：安元順	神奈川県川崎市	海と人の関わり方を議論し、海の環境保全・復元の手法、水辺を活かしたまちづくり、海業に関する歴史的資料の収集と展示等の課題について、調査、報告を行っている。	
日本渚の美術協会：斎藤賢一	東京都千代田区	海と渚の環境保全・美化活動と、海辺で得られる拾得物で創作活動を行うアーティストとの交流から、海への関心を深める活動を展開している。	

##### [環境の保全・創造]

団体名称・氏名	所在地	活動内容・目的	データ出所
サーフライダーファウンデーション・ジャパン	千葉県鴨川市	サーファーやボディーボーダーの立場から海の環境保護を訴え続けている。	
NPO三番瀬環境市民センター：安達宏之	千葉県市川市	東京湾三番瀬の環境を保全し、住民が良好な自然の海辺を享受できるようなまちづくりを行うために、三番瀬に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流、施設等の整備等に関する事業を行い、三番瀬及び沿岸域の環境保全及びまちづくりに寄与する。	、

N P O 海辺つくり研究会 ：木村尚	神奈川県横浜市	沿岸域環境の保全・再生・創出や自然と共生する海辺つくりに関する事業を、先人の知恵や多くの市民の新しい知恵に学びながら、積極的に推進し、地域の振興や地球環境の保全に貢献している。	、
市川緑の市民フォーラム ：佐野郷美	千葉県市川市	市川市を再び緑豊かで住みやすく、文化の香り高く落ち着いた雰囲気のある街とするために、市内の自然環境はもとより、文化や歴史について学びながら、市川市や千葉県に働きかけている。	
よこすか水辺環境研究会 ：山下金義	神奈川県横須賀市	横須賀市の水辺環境の再生修復のため、調査研究、小中学生、一般市民を対象にした環境学習、見学会などの実施、市内や近隣環境団体との交流促進を行っている。	
沖ノ島サンゴを見守る会 ：三瓶雅延	千葉県	「愛する子供たちに素敵な海をおくろう」を合い言葉に、東京湾口に生きる北限域のサンゴを見守る。	

[利用促進]

団体名称・氏名	所在地	活動内容・目的	データ出所
アイアンキッズ支援隊 ：加藤義孝	茨城県大洗町	海辺の体験活動に積極的に取り組む。	
磯遊び研究会 ：田中克哲	神奈川県横浜市	磯遊びに興味を持つ人達によって構成し、漁業や自然と調和した「楽しい磯遊びの方法」などの情報交換及びその普及を図り、次世代支える子供達、その他多くの人達に磯遊びの楽しさを体験してもらい、それを通じて海辺と人間の関わり、人間が生きていく上での海辺の重要性等、海辺の自然環境教育を行っていくことを目的にしている。	
東京港野鳥公園グリーンボランティア ：八木雄二	東京都杉並区	東京港野鳥公園の趣旨に賛同し、観察指導や環境管理作業等の活動を自主的に行う事を通して、自然に親しみ、学び、ふれあう施設としての野鳥公園作りを目指す事を目的とする。	
オーシャンファミリー海洋自然体験センター ：海野義明	神奈川県三浦郡	海が好きで、自然を大切にしていきたいと考える人々が集まり、魚のこと、鳥のこと、植物のこと、自然全般のことを楽しく体験しながら学んでいき、さらには、ボランティア活動や調査、研究活動を展開している。	

スリーアイ ：壇野清司	東京都 大田区	安全な潜水活動及び潜水教育指導について、研究・開発を進めこれを普及することをもって、潜水の健全な進歩発展と会員の相互親睦を図ることを目的とする。	
平塚ビーチクラブ ：どじ	神奈川県 平塚市	湘南平塚の大切な財産である美しい海を将来にわたって子どもたちへ残していくため、ビーチスポーツを通して“楽しみながら湘南の自然を守っていく”活動を行っている。	

[海辺以外の先進団体]

団体名称・氏名	所在地	活動内容・目的	データ出所
NPO多摩川センター ：	東京都 国分寺市	多摩川とその流域において、次世代への命の継承し、その源である健全な水循環と河川環境の保全・回復に力を注いでいる。	
NPO鶴見川流域ネットワーク(ばく) ：平山康弘	神奈川県 横浜市	鶴見川の水系に沿って自然や都市を学び直し、バクの姿の流域地図を共有しながら流域規模の市民連携をすすめ、《安全・安らぎ・自然環境・福祉重視の川づくり・まちづくり》をとおして、持続可能な未来を開く新しい流域文化を育くむための様々な流域活動を進めている。	

データ出所 =           ：アンケート調査、           ：3部会メンバーからの紹介

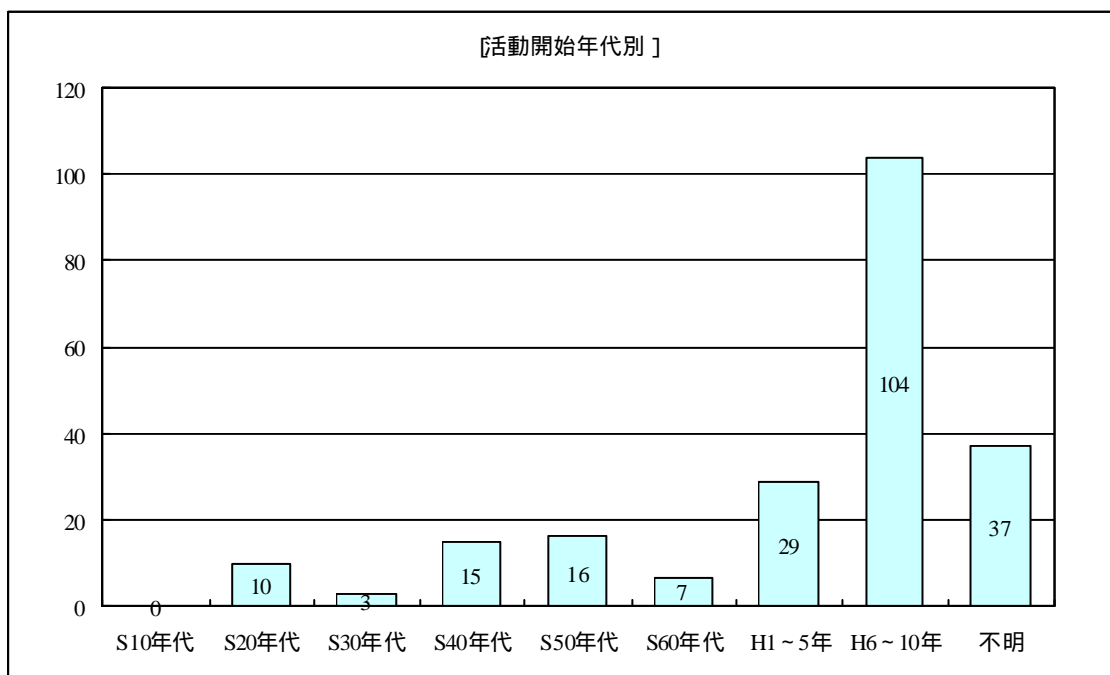
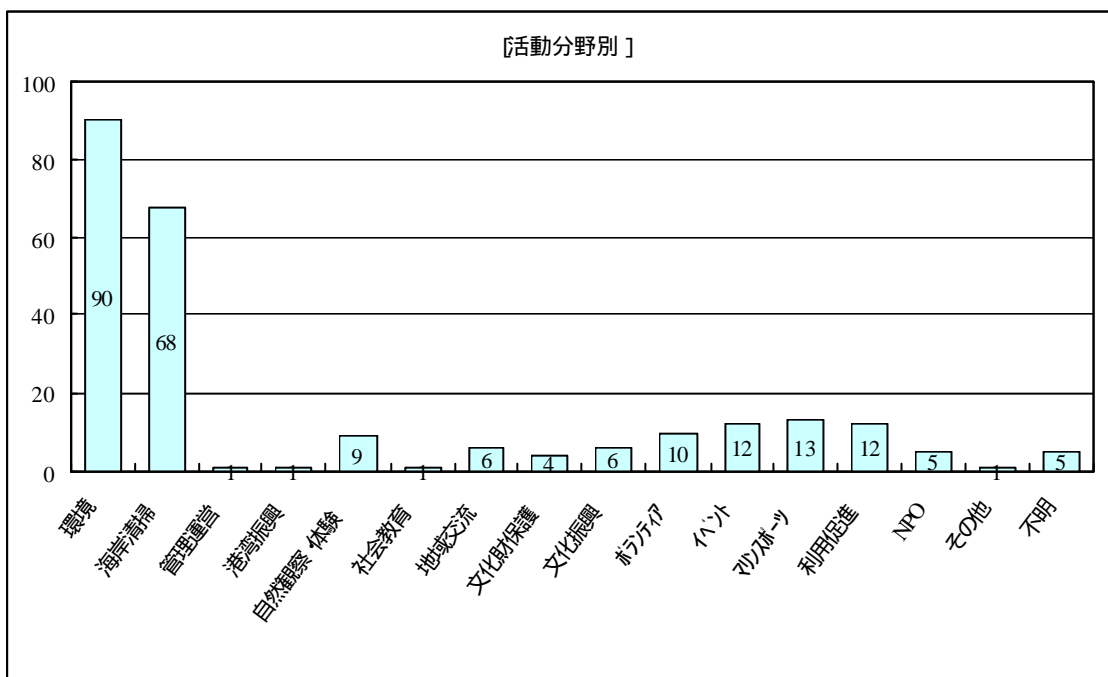
## 別紙：アンケート調査の概要

### 調査の概要

港湾局海岸・防災課より「地域で海辺をフィールドとして『里浜づくり』に関連する活動を実践している組織（NPO等）及びその具体的な活動内容について」把握するために、各地方整備局を通じて、直轄事務所に調査を行ったものである。

このため、各事務所での調査方法もまちまちであり、結果的に漏れのあるデータであり、一部の地域では、行政と関連の深い団体も含まれた結果となっている。

### 全国の概況



## 県別の概況

